

■小学校世界遺産学習フィールドワーク

藤井寺市教育委員会が市内全小学校の6年生を対象に実施している世界遺産学習に今年も各古墳などの説明担当として参加しました。4月26日から6月17日まで7校、560人余りの児童が参加しました。

5月11日の藤井寺南小学校のフィールドワークは、午前の降水確率60%の中、予定より少し遅れて応神天皇陵古墳外濠外堤から児童達がスタート。心配していた雨もほとんど降らず、曇り空の下でも児童達は元気いっぱいでした。

傘やレインコートにもめげず熱心にメモを取りながら説明を聞いて、質問にも間髪を入れず答えてくれました。私が担当した「仲姫命」の読み方が難しく、「なかつひめのみこと」とみんなで練習しました。「卑弥呼！」という迷答もあり印象に残っています。きっと学校で古墳や被葬者について学んでいる最中なのでしょう。教科書の写真だけではなく、自分の目で本物の古墳を確かめられる藤井寺市に住んでいる幸運を肌で感じてほしいと思いました。私たちがそのお手伝いを出来るということは本当に嬉しい限りです。

この日、地面が濡れていたために、小学生たちは古室山古墳で昼食をとって遊ぶことが出来ず残念な様子でした。ちなみに、担任の先生は、この学年は春の遠足も秋の遠足も雨だったそうで、今回古墳めぐりが実施できて良かったとおっしゃっておられました。この学習を機に、これからも藤井寺の古代歴史遺産への興味関心を持ち続けて欲しいと思いました。

(2016/6 中澤)



鍋塚古墳